

SRC構造物に特化し、優れた実用性、容易なメンテナンス性と高耐久性

鉄骨鉄筋コンクリート解体機 SRCシリーズ

総合力
No.1

- 破碎・切断性能
- メンテナンス性
- 耐久性

New

SRC15



特長

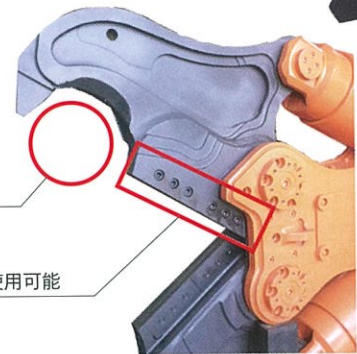
- 大割・カッタ1台で二役。人件費・コスト削減。
- パワフルで安定した破碎力を発揮する構造。
- SRC解体に適したアーム
- 鉄骨切断カッタ部
- 新機構のフリクションプレート
- オールクロードシステム

Point SRC解体に適したアーム

- SRC解体に特化したデザイン。
H鋼や鉄筋に密着しているコンクリートを破碎・剥離するため、先端のコンクリート破碎部の懐を広くもうけた形状。
- 食い込みやすいアームから生み出される、高レベルの破壊力と切断力。
- コンクリートを破碎して鉄骨をむき出しにする「皮剥ぎ作業」と鉄骨の「裁断作業」を1台でこなせる実用性で、オペレータ不足に悩む現場でも高評価。

懐が大きく、
食い込みやすい

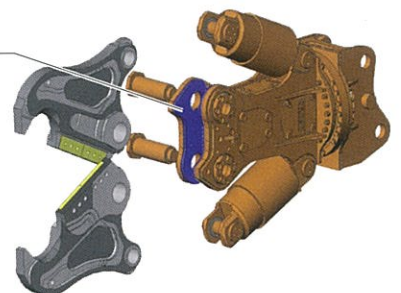
カッタは4面使用可能

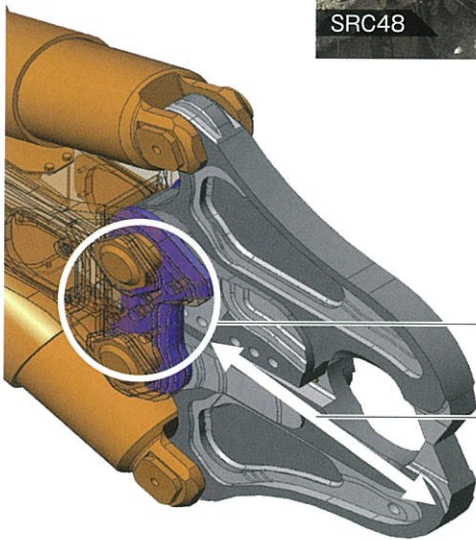
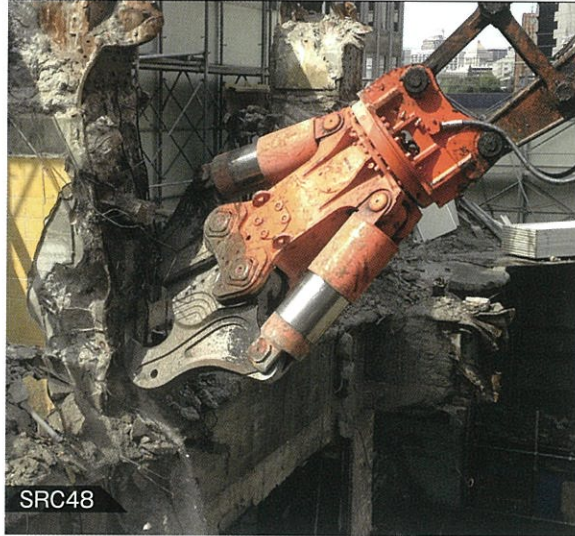


Point 鉄骨切断カッタ部

- 長めのカッタ分割タイプ4面使用可能刃。
- 超高耐摩耗材を使用、最先端の高力学から計算されたバランスのとれたアームの形状。

プレートが摩耗すれば交換可





フリクションプレート
接触面が大きく摩耗が少ない

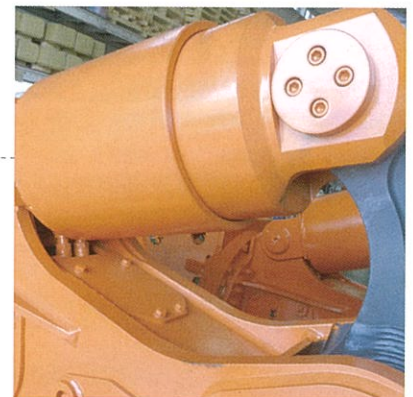
先端までの距離が短い

Point 新機構のフリクションプレート

- アームとフレーム間に新機構のフリクションプレートを採用。アームとフレームの設置面積を大きく保持することで摩耗を軽減し、アームの保持のがたつき・開きを防止。
- プレートは摩耗すれば安易に交換可能。

Point オールクロズドフレーム

- 密閉構造の”オールクロズドフレーム”。ボックス形にすることで、高い強度を実現し、同時にコンクリートガラ等の異物混入を防止。
- カバーを外せば、フレーム内部のメンテナンスも大変容易。



[仕様] *(R)は油圧回転タイプ

	本体内蔵 リリース弁 設定圧力	ATT油圧配管 最大設定圧力 (最大使用圧力)	先端破砕力	中央破砕力	カッタ長	最大開口幅	質量	油量	【参考】 取付 ショベル
	MPa	MPa	kN	kN	mm	mm	kg	L/min	tonクラス
New SRC15 (R)	—	32	680	1865	380	930	1520 (1530)	100~200	12~16
SRC25 (R)	—	32	960	2550	500	1025	2595 (2595)	200~300	19~28
SRC38 (R)	—	32	1250	3470	560	1300	3805 (3765)	300~400	29~38
SRC48 (R)	—	32	1400	3620	600	1430	4810 (4850)	300~400	39~48

*各製品の仕様は、改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承下さい。
 *取付の際には、当該ショベルのアタッチメント装着可能質量をご確認ください。
 *ATT油圧配管の最大設定圧力を指定の圧力に設定して下さい。圧力が高すぎると故障や破損の原因になります。